

3年生保護者の皆様

令和4年度 3学年「国語科」シラバス

学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指します。

評価の観点

評価の観点	内容
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりする。
思考力・表現力・判断力	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えをまとめる。
学びに向かう力	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをもったりしながら、言葉がもつよさに気付こうとするとともに、幅広く読書をし、言葉をよりよく使おうとする。

評価の方法

国語の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 発言、発表 音読・朗読 単元テスト 小テスト
ワークシート 作文 ノート 提出物

学習計画

月	単元名	主な学習内容	家庭学習に取り組めること
4月	○どきん／春のくらし ○きつつきの商売 ○国語辞典を使おう ○漢字の音と訓	・春に関わる言葉を連想し、語句を増やす。 ・場面の様子や違いに注意し、音読を工夫する。 ・国語辞典の使い方をを知る。 ・漢字の音読み訓読みについて理解する。	年間を通して ・音読 ・漢字練習
5月	○もっと知りたい、友だちのこと／きちんと伝えるために ○言葉で遊ぼう／こまを楽しむ	・話の中心に気を付けて聞き、質問したり感想を述べたりする。 ・「初め」「中」「終わり」の文章構成や段落内容を把握する。 ・文章を読んで感じたことを発表し合う。	④「きつつきの商売」 ・辞典を使って言葉集め ④「こまを楽しむ」
6月	【じょうほう】全体と中心 ○気持ちよこめて「来てください」 ○まいごのかぎ ○俳句を楽しもう	・相手や目的を意識して、気持ちをこめて案内の手紙を書く。 ・人物の気持ちの変化や性格、情景について想像して読む。 ・言葉の響きやリズムに親しむ。	・手紙を書く ④「まいごのかぎ」
7月	○こそあど言葉を使いこなそう 【じょうほう】引用するとき ○仕事のくふう、見つけたよ 符号など	・指示する語句の役割について理解する。 ・引用の仕方や出典の示し方を理解し使う。 ・中心を明確にし、文章構成を考えて報告する文を書く。	・文づくり
9月	○夏のくらし ○鳥になったきょうりゅうの話 ○わたしと小鳥とすずと／夕日がせなかをおしてくる	・夏に関わる言葉を連想し、語句を増やす。 ・幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付く。 ・詩を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方に違いがあることに気付く。	・辞典を使って言葉集め ・読書 ④「わたしと小鳥とすずと」 「夕日がせなかをおしてくる」
10月	○山小屋で三日間すごすなら ○ポスターを読もう ○へんとつくり ○ローマ字	・比較や分類の仕方を理解し使う。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつ。 ・漢字のへん、つくりなどの構成について、知識をもつ。 ・日常使われている簡単なローマ字を読んだり書いたりする。	・漢字のへん、つくり調べ ・ローマ字の練習
11月	○ちいちゃんのかげおくり ○修飾語を使って書こう ○秋のくらし ○はんで意見をまとめよう ○すがたをかえる大豆	・人物の行動、会話、情景などの表現に着目しながら読む。 ・修飾・被修飾の関係など、文の構成の初歩的な部分を理解する。 ・秋に関わる言葉を連想し、語句を増やす。 ・互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめる。 ・段落相互の関係を考えながら、文章の内容を読み取る。	④「ちいちゃんのかげおくり」 ・修飾語の使い方を調べる ・辞典を使って言葉集め ④「すがたをかえる大豆」
12月	【じょうほう】科学読み物での調べ方 ○食べ物のみみつを教えます	・目的に合った事例を複数あげながら、説明の文章を書く。	
1月	○ことわざ・故事成語 ○短歌を楽しもう ○三年とうげ ○たから島のぼうけん	・ことわざや故事成語のみを知り、使うことができる。 ・言葉の響きやリズムに親しむ。 ・登場人物の気持ちや情景を想像する。 ・「初め」「中」「終わり」の組み立てを使い、物語の構成を考える。	・ことわざ・故事成語集め ④「三年とうげ」 ・物語作り
2月	○冬のくらし ○詩のくふうを楽しもう ○カンジーはかせの音訓かるた	・冬に関わる言葉を連想し、語句を増やす。 ・詩の構成や内容の大体意識しながら音読する。 ・3年生で習った漢字を読んだり書いたりする。	④「ありの行列」
3月	○ありの行列 ○伝わる言葉で表そう ○これがわたしのお気に入り ○コンピューターのローマ字入力 ○わたしたちの学校じまん ○モチモチの木	・実験と考察に気をつけながら段落の内容を読む。 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句を使い、語彙を豊かにする。 ・自分の考えと、理由や事例の関係を明確にし、工夫して書く。 ・ローマ字入力で言葉を打つ。 ・相手に伝わるように工夫して話す。 ・登場人物の人物や気持ちの変化を押さえて読む。	・スピーチの練習 ・ローマ字の練習 ④「モチモチの木」 ・1年間に学習した漢字の復習